

千葉先生ご講演

- 1) レジメ説明
- 2) 【マザー・テレサの愛】～存在に触れて～
- 3) マザー・テレサの存在と出会い。
千葉監督自身の体験。1976年＝初対面の印象。
1978年秋撮影開始＝「マザー・テレサとその世界」
1979年秋＝ノーベル平和賞の授賞。
その段階でのテレビ番組の日本テレビ放映
初来日（81年）、82年、84年3回の来日。
*～いのち、愛、家庭、人生の役割、平和～
- 4) 映像「今ここに愛の奇蹟」（1980年8月・24分）
- 5) マザー・テレサと日本社会 小学校国語下【愛を運ぶ人】
*死を待つ人のホームの存在
*現代家族の落とし穴＝ホテル、サナトリウム、要塞、劇場。
*人間にとって最大の不幸と幸福。成熟の二つの条件
- 6) マザー・テレサへのインタビュー
*5つの質問＝家庭環境、貧しい人への共感、奉仕の意味、メッセージ
*祈りとは何か＝3つのことに気づく
*母、父、子ども、愛、家庭、ユーモア
- 7) 初来日の反響＝生命尊重の市民運動と広がり（7/13日生命尊重の日）
- 8) マザー・テレサからのお願い
*スタッフの思い出＝夕食の取材に付いてのエピソード。
*帰天1997年9月＝最後のことば（Jesus, I trust you）
*5本の指（You, did it to me）
日本のMCへの電話 “行きなさい”（阪神・淡路大震災）